



# Forest Specific Scenes

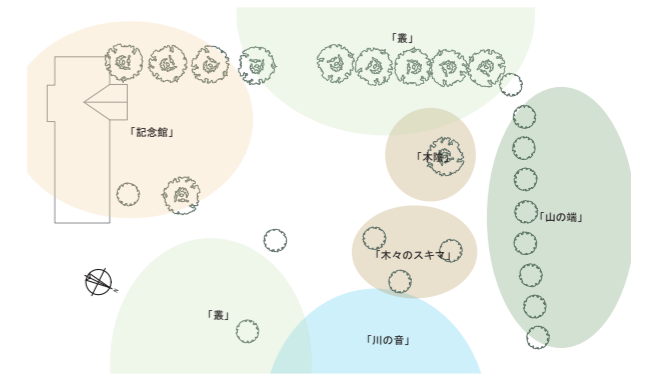
木々の隙間、草むら、山の端・・・森にはいろいろな風景が宿っている。



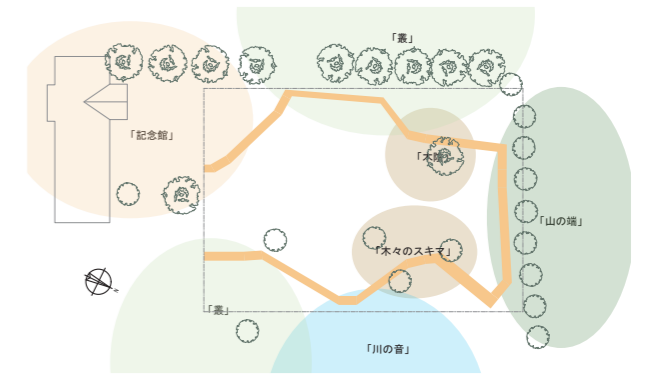
さわら島に存在する、視覚・聴覚に訴えるさまざまな自然の要素や風景



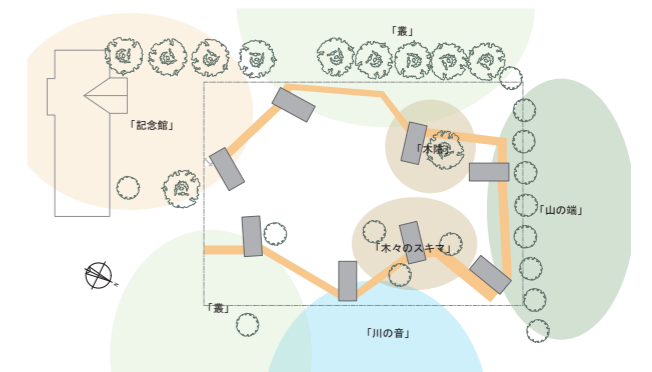
計画地とその周辺の要素・風景がつくる視覚的要素や領域を仮定する。



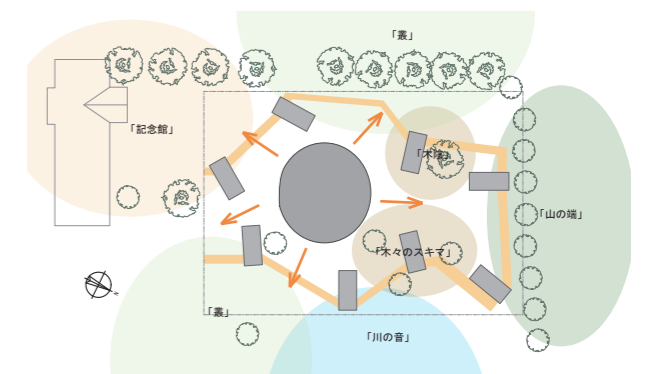
仮定した場所のまとまりをパスでつなぐ。



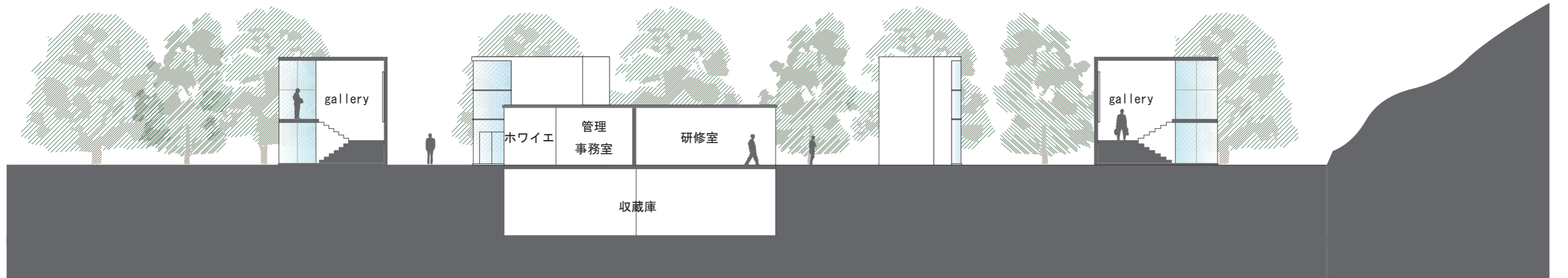
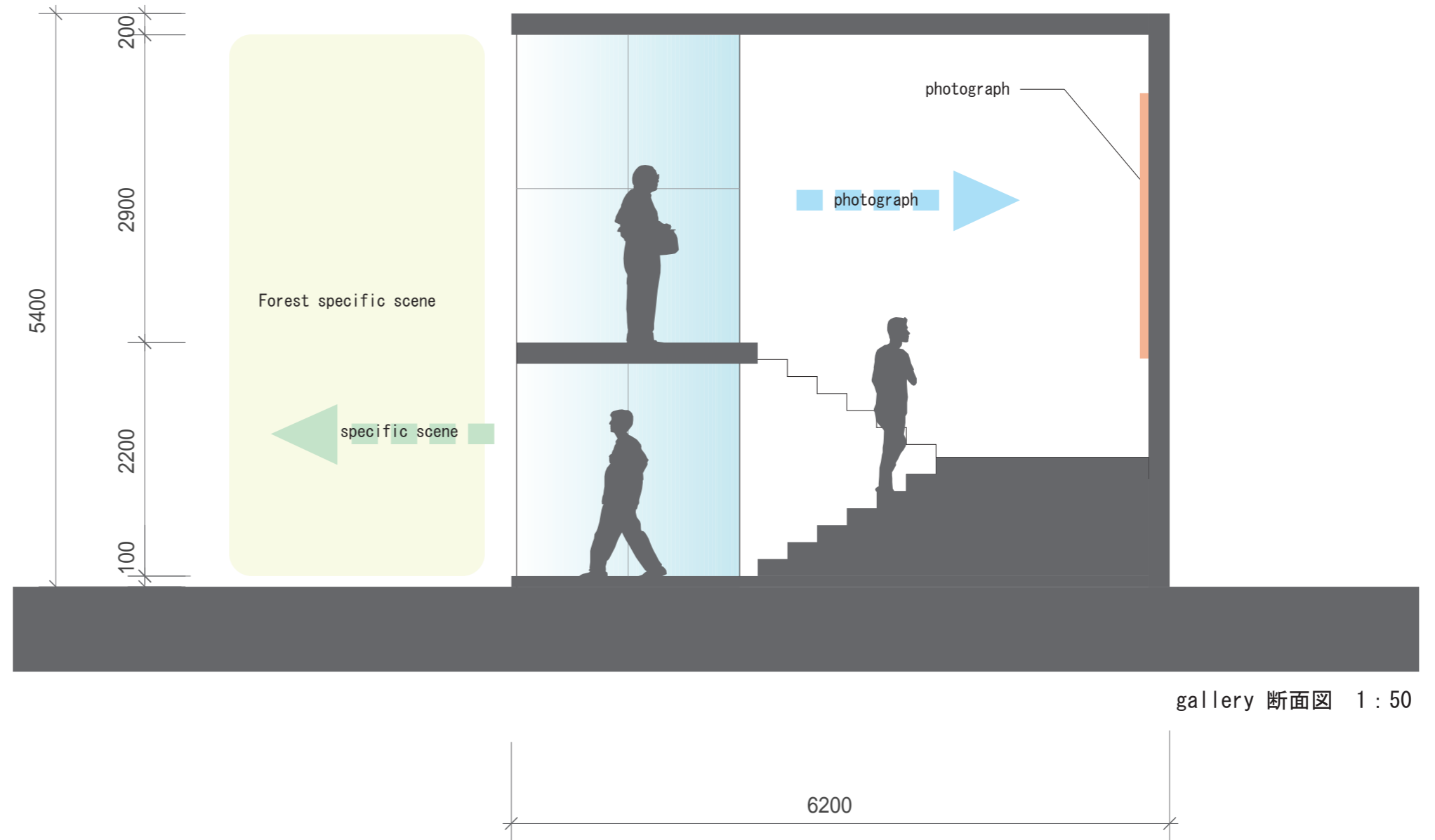
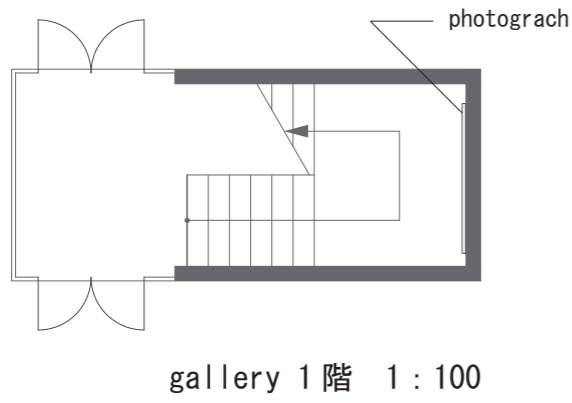
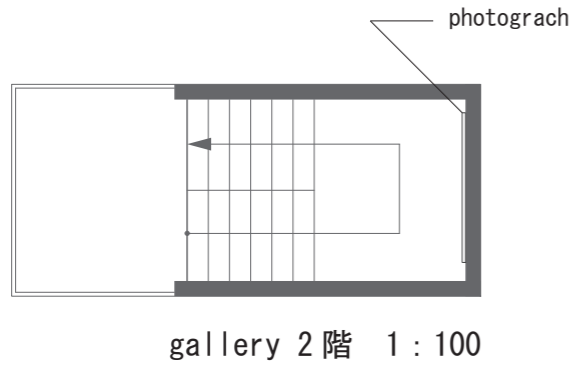
ギャラリーを配置する。各々の風景や要素を切取るような箱が配置される。  
「風景を切取る箱」で写真のための展示室を作る。

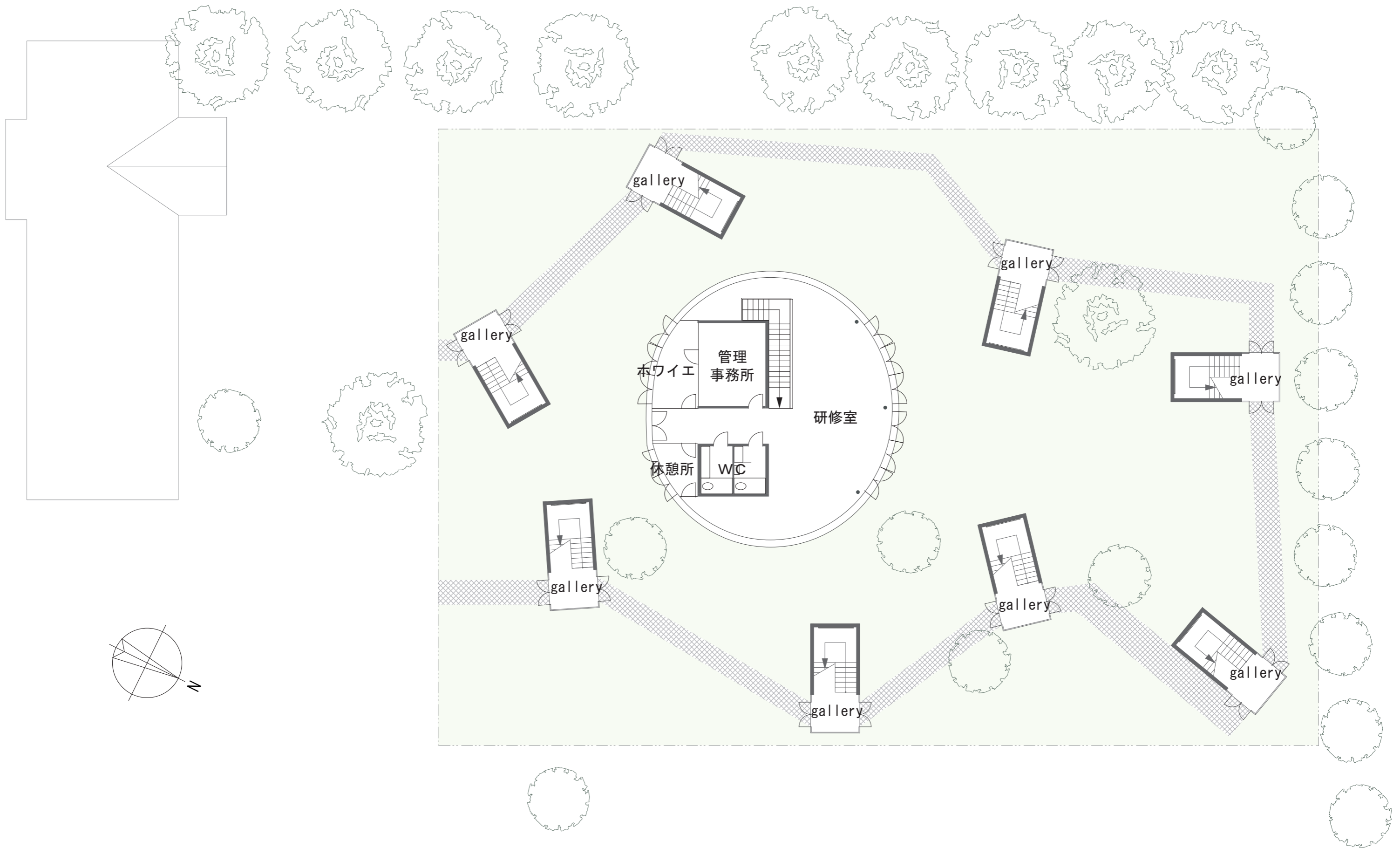


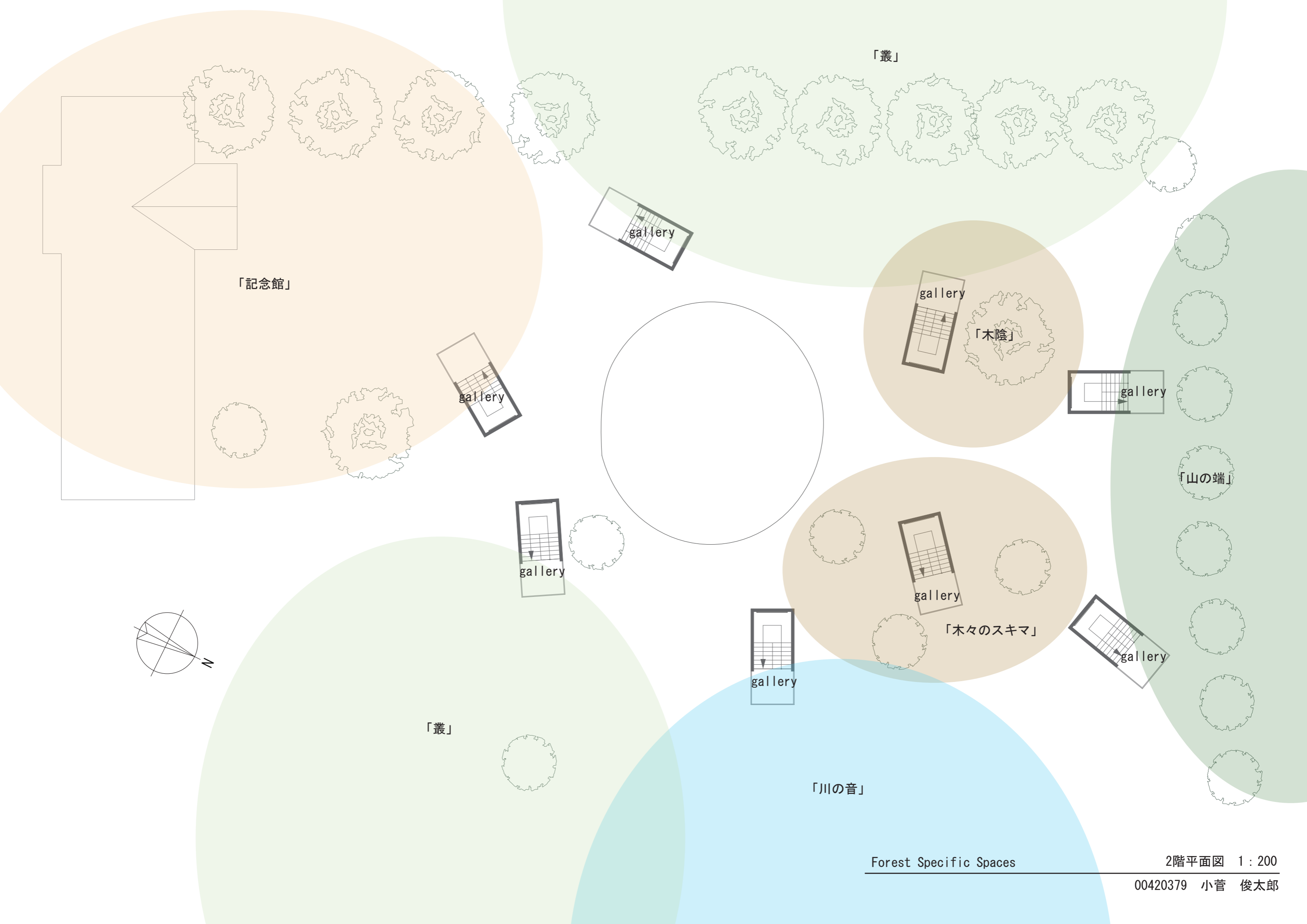
ギャラリーの輪の内側に研修室を建てる。  
ギャラリーが作るランドスケープ越しに自然を眺める。  
ファインダーから自然を眺める空間を作る。



pathに点在するギャラリーは、片側がガラス、他方がコンクリートでできたシンプルなボックスの形をしている。  
 ガラス側は写真館の外部に向かってその置かれる場所特有の風景を切り取り、その場所の固有性を際立たせる。  
 コンクリートの側の壁面には白旗史朗の作品が一枚展示されており、切取られた固有の空間に1つの作品が対応する、  
 来館者は階段を登って写真に間近に接した後、2階へと上がって、森の風景をバックにゆっくり写真と対峙する。







「叢」

「記念館」

gallery

gallery

gallery

「木陰」

gallery

gallery

gallery

「木々のスキマ」

gallery

gallery

「叢」

「川の音」

「山の端」